第394号

主な記事

1面	第32回定期総会 アピール
2面 ～ 5面	第32回定期総会　記念講演要旨 「ほんとうの豊かさとは」 （3面／役員名簿）
6面	肺炎球菌ワクチン公費助成、 指導・監査学習会、口臭治療講演会

岩手県保険医新聞

発行所
岩手県保険医協会
〒020-0034
盛岡市盛岡駅前通15－19
ＴＥＬ 019-651-7341(代)
ＦＡＸ 019-651-7374
発行人　箱　石　勝　見
http://www.i-hoken-i.org
購読料　年2,400円（〒別）
会員の購読料は会費に含まれています。

第32回定期総会開催
地域医療従事者が安心して医療に専念できる環境を

総会のようす

6月7日、盛岡市内のホテルで、第32回定期総会を行いました。冒頭、箱石会長（再任）が「地域医療に従事している我々にとって、安心して医療に専念できる環境がますます破壊され、岩手ではさらに医師不足と歯科医師過剰という問題も抱えており、県民が安心して受診し健康を保っていくためにも、医院の経営安定は必要であり、保険医協会の果たす役割は重要です。また衆議院総選挙にあたっては、各候補者や政党の公約を分析し、医療費抑制策の撤回が公約となるよう、諸団体などとも連携して運動をすすめていきたい」とあいさつし、その後、祝電・メッセージの披露がありました。岩手県医師会をはじめ、多くの方々から祝電・メッセージを頂戴致しましたことに感謝申し上げます。

その後、栃内秀彦先生が議長に指名され、08年度活動報告、決算報告、会計監査報告、09年度活動計画・予算、総会アピールが承認されました。

また、第16期役員選挙も行われ上斗米博選挙管理委員長の進行のもと、新任役員6名を含めた43名の役員が選出されました。

（3面参照）

県議会議員（50音順）

斉藤　信 氏

衆議院議員　階　猛 氏

高橋　比奈子 氏

社民党幹事長　伊澤　昌弘 氏

三浦　陽子 氏

記念講演「ほんとうの豊かさとは」
過去最高140名参加

総会後「ほんとうの豊かさとは」と題し、埼玉大学名誉教授・経済学博士の暉峻淑子氏にご講演いただきました。

定期総会記念講演としては、昨年を上回る過去最高の140名の参加がありました。

参加者は戦中、戦後の話や、国内外の情勢分析を踏まえた幅広い見地からのお話に聞き入っていました。

講演会の後は暉峻先生を交え、懇親会を行い、多くの方々にご出席いただきました。衆議院議員の階猛氏、社会民主党岩手県連合幹事長の伊澤昌弘氏、県議会議員の斉藤信氏、三浦陽子氏、高橋比奈子氏からごあいさついただき、和やかな雰囲気で懇親会が催されました。

第三十二回岩手県保険医協会定期総会アピール

資本主義とはいえ、恐慌が不可避という根本的な弱点があるといわれます。今、そのような弱点が世界を席巻し、日本も市場原理主義の崩壊などの多大な影響を受けています。大企業は、次々に生産体制の縮小を余儀なくされ、下請けや派遣労働者などの非正規労働者が直接の被害を受けました。困窮する彼らに具体的な援助を実行したのは、国や政府というよりは、「年越し派遣村」を設置するなどした民間団体でした。

さて、後期高齢者医療制度が導入されて一年が経ちました。政府は、世論の強い反発を無視できなくなり、保険料の一部を引き下げ、保険料徴収方法を変更しました。しかし、高齢者の健康増進というよりも医療費抑制であるとの実体はそのままです。当協会は、昨年の六月県議会において他団体と共同で制度の撤回を求める請願の採択を得、また、市長が後期高齢者医療広域連合長を務める盛岡市議会においても、協会単独による制度の撤回を求める請願の採択が実現しました。

景気の悪化に伴い、国民健康保険の保険料の滞納が県内でも三万四千世帯を超えています。長期滞納者が受診を必要とする時は資格証なるものが交付されますが、一時的にしろ十割負担であり、事実上の受診抑制です。自治体の財政悪化があるとしても、憲法二十五条の「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」の観点からも、早期に撤回すべき制度です。

深刻な医師不足は、遂に、四月から県立五地域診療センターの無床化という事態を招きました。地域住民に大きな不安と不満を残しましたが、党派を超え今後も行政とともに取り組んでいかねばならない大きな根深い問題といえます。

介護保険制度も多くの問題を抱えています。三年ごとの見直しにより、本年四月に簡素化、公平化を名目に要介護度認定方法が改定されました。介護費抑制だけが先行するのではと、現場では内容を疑問視する向きもあり、実施後も実状との乖離に注意を要します。一方では、特別養護老人ホームの待機者は五千名以上となっており、家族の重い負担は想像に余りあります。介護分野への、国の予算の重点的配分が望まれます。

レセプトオンライン請求の義務化が足元に迫っていますが、時期尚早という理由で、神奈川県保険医協会を母体に義務化撤回を求める訴訟が起きています。岩手からも二十一名の会員が原告として名を連ねました。当制度による経費の負担や事務の激変に対応できないため、廃業しか選択肢がないという開業医も少なくありません。国の政策が、医療崩壊を加速しようとしているのです。

歯科においては、異常な低診療報酬がしばしば国会でも取り上げられていますが、改善の兆しは一向に見えません。一部大新聞の生半可な取材による独善的で扇動的な歯科叩きが横行するのに対し、大手雑誌による歯科界の窮状の特集が年中行事化していま す。まさに、歯科医療の質の堅持が危機に瀕しているのです。

また、ここ一両年の貧困層の大量化、固定化とともに、医療をまともに受けられない人々が増加し、医療に携わるものとして看過できない情況です。それのみか、貧困は戦争への免疫力を低下させ、平和を考え維持するには、戦争放棄の憲法九条と前述の生存権保障の二十五条は、もはや不可分のものといわれています。それでは、景気の回復が到来しなければ、これらの非合理は克服できないのでしょうか。否、互助の関係性が真の豊かな社会をもたらすと唱える人がいます。

岩手県保険医協会は、県民の医療と健康を守るため、志を同じくする人々や各団体と協力し、このような情勢の打開に積極的に取り組んでいく所存であります。

第三十二回定期総会にあたり、この決意を右表明するものであります。

二〇〇九年六月七日

第三十二回岩手県保険医協会定期総会

鍼のひびき

メキシコ発の新型インフルエンザの流行を通して様々ことが見えてきた。当初政府は致死率が60％にも達するのではないかと言われていた「高病原性鳥インフルエンザ」を想定したマニュアルを作成し、各自治体にもそれに基づいた対策策定を促した。厚生労働省の「マニュアル」は実に二百四十頁に及んでいる。このマニュアル、国内への持込を限りなくゼロにし、感染者は全て隔離し二次感染を惹き起こさないことを目的としており、当初から「現実的にはこの対応は無理であろう」とささやかれていた。▲そこでやってきたのは予想だにしない「豚インフルエンザ」であった。先のマニュアルに従うが、最初からさまざまなほころびが露呈した。力を入れた水際対策（検疫）は国際的評価どおり侵入を阻止できず、また「遅らせた」と評価することもできない。政府の国民に対するパフォーマンスとしては大きく寄与したが、マスコミを通じて不安をあおり、マスクの買占めに走らせただけかもしれない。▲感染が拡がるや、過剰な生活・社会活動の制限との批判が噴出し、朝令暮改の通知・通達が繰り返され、医療機関・市民は翻弄され続けた。▲また「マニュアル」の規定とは裏腹に、医療機関では感染診断キッド、治療薬、感染防護用具が手に入らない。そしてもともとの人員不足は新たな対策に対応しきれない。「徒手空拳」に近い状態で、職員の安全と健康を一部犠牲にしながら診療に当たった医療機関も多い。▲過去の世界的流行や、季節性インフルエンザが猛威を振るった時期と比べても被害が少ないことは幸いである。今回の事態を通して、政府・地方自治体・各医療機関は大いに教訓を引き出し、来るべき次の流行に備えるべきだ。また国民もマスコミに扇動されることのない冷静な判断・行動が大切だ。

（尾形文智）

■　税務調査、個別指導の連絡があった際は、お早めに協会にご相談ください。（TEL019-651-7341）

第32回定期総会　記念講演要旨

「ほんとうの豊かさとは」

講師
暉峻 淑子（てるおか いつこ）氏

法政大学大学院博士課程修了
埼玉大学名誉教授
専攻　生活経済学

著書
「豊かさとは何か」
「ほんとうの豊かさとは」
「サンタクロースってほんとにいるの？」

大きな危機感

私も一人の主婦ですが、生活をしている人間として、今の社会に大きな危機感を持っています。私は戦中派で、戦前の教育を受けてきた人間です。人間は一度ひどい病気をすると、治ってからも、また病気になりそうというのがわかります。それと同じで、戦前の経験をしているので、今の社会の状況がまた病気になりそうという気配を感じます。

私が小学校の頃は、子どもから意見を述べることはなく、全て教育勅語の通りにやらなければなりませんでした。知恵を出すなんていうこともなく、上の人が決めたことをただ「はい、はい」と言って守らなければいけませんでした。

入学式や卒業式などで紋付を着た女の先生が教育勅語の箱を持って入口のところに来ると、生徒は一斉に下を見て、白手袋をした校長先生が読み終わるまでずっとそうしていなければなりませんでした。

教育勅語は長く、その間、鼻水が垂れてきたりしました。小学校1年生は何にもわかりません。意味はどうでもよく、叩き込むというやり方は今も続いていると思います。例えば、農業問題や社会保障が大変だと言いますが、それも一握りの上の人が決めたことを、その通りにしていればいいという風潮です。教育勅語こそ読まれませんが、**国が決めたことに私たちは文句を言ってはいけない、疑問を持ってはいけないという習慣でずっと来たと思います。**

お国のためから一人ひとりのために

敗戦までは私たちはお国のために生きてきました。特に男の子は生まれた時から兵隊になって命を捧げるという運命が決まっていました。これでは文句を言うような筋合いのものではありません。

ところが新しい憲法、教育基本法が出来て何が根本的に変わったかと言うと「これまでお国のために、国が決めたことに一生を捧げさせられてきましたがこれからは違います。**あなたたち一人ひとりが幸せな豊かな人生が送れるように、民主主義国として、福祉社会を作っていくために、国があなたたちのために働きます」と約束をしたのが新憲法でした。**

粗末に扱われる人間

今の社会をいい社会だと思っている方がいらっしゃるとすればそれは結構ですが、社会全体がすごく危ない状況にあるというのをご存知ないと思います。今の若い方を見ると本当に気の毒でなりません。

親は子どもが生まれてから大学、高校を出るまで、病気になれば徹夜をして看病し、自分は食べなくても子どもに食べさせたいと思います。子どもに養ってもらおうという気持ちを企業は雇って働かせるのではなく、親として子どもにいい人生を歩んでもらいたいという一心で育ててきているわけです。

高校や大学を出るにしても、今の若者の半分が職がないなんて考えてもいません。親が1千万、2千万かけてそんなところを企業は雇って働かせます。必死になってなけなしのお金を出して育てた子どもたちが、今年の新卒で正規で働いているのは25％です。あとは非正規です。非正規は失業保険や年金もなく、1日だけ来て下さいと言われ、大学を出た人が1日中たまねぎの皮むきをします。そして明日からは来なくていいと言われます。

それは、**人間を原料よりも粗末にしている**と思います。原料だったら倉庫にしまっておきます。人間の場合は倉庫にしまうわけにもいかないので、1日、1日で雇って後のことは知らんとなります。しかし、こっちは生きていかなければなりませんから、知らんと言われた方は憐れなものです。

岩手県の時給は600いくらだと思いますが、その時給で生活保護並みの生活をするためにはどのくらい働かなければいけないと思いますか？3千何百時間働かなければなりません。

今、**先進国の中で1番時給が安いのが日本**です。フランスは1200円、ドイツは千円です。

最低賃金を上げなくてはいけないと言っても、そうすると企業が大変だからと、政府は法律を変えようとはしません。

ヨーロッパとの違い

60年代はヨーロッパ各国も戦争に巻き込まれていたので大体同じ状況でした。しかし、ヨーロッパは、今まで強い国に憧れて植民地から搾取した結果、こういう目に遭ったのだから、これから**国家の目的は福祉国家**に変えなければいけないというのが共通事項でした。

イギリスでも労働党が政権をとり、ドイツでもアデナウアーも退陣して、福祉国家を目指そうということになりました。ところが日本だけがまだ銭と物でした。ある程度の物があっても飢餓感があり、お金や物に替わる、私たちがどういう状態になったら幸せで豊かな気持ちで生きていけるのだろうかという思想や哲学は全然出てきませんでした。戦争中私たちがいかに痛めつけられたかということの表れで、その痛みは戦争を体験した人が生きている限り続きます。

結局、銭や物がいいという自民党がずっと政権をとってきました。だから国民は福祉や平和というと、そんなの現実的ではないと言います。私もよく「あんたは現実を知らない」と言われます。知っていますよと言いますが「福祉なんて唱えるのは甘い、現実だ」と言われます。現実って何ですか？というと、銭と物です。藤田さんという学者さんが非常にうまい事を言っています。「日本はスターリンの国ではないから、独裁政治で一色に染まり、無理やりそう思えと言われる国ではない。確かにそうだが、**国民みんなが同じ思いを持っているものがある。それは便利と安楽はいいことであるということだ」**と言うのです。

理想はいらない、銭と物

日本が戦争に負けた時はものすごい状況でした。敗戦の時、配給の1日のカロリーは700キロカロリーもありませんでした。本当に食べ物がなく、カタツムリでも食べられる物は何でも食べました。飢え死にする人もたくさんおり、たくさんの子どもたちが餓死し、上野駅に行くと、たくさんの人が死んでいました。

都市という都市が空襲を受けていますから、住む所もなく、トタンを持ってきてその下に板を敷いて暮らしていました。私たちは大変な目に遭ったわけです。五族共生と言って、5つの民族が繁栄するために、天皇のために戦争をしていることになっていました。だから敗戦後、そういう理想はいらんとみんなが思いました。銭と物、これさえあればいい。理想に引っぱられて私たちはこんな目に遭った。**理想は信じない、信じるのは銭と物だけ**と国民は思ったと思います。

60年代に入って、戦後は終わったとなり、飢え死にから回復するようになってきました。80年の経済や生活水準を100とみると、敗戦の時は1・7しかありませんでした。ですから私より優秀な人たちがたくさん結核などで亡くなりました。

現代史を知らない若者

今のひどい状況はその結果です。もっと人間らしく考えなければいけませんでした。**考えさせないような教育もされてきました。**

ドイツで何年か暮らしましたが、日本から来る大学や高校の留学生は日本の現代史を全く知りません。日本はアジア太平洋戦争で何をしたかということを本やテレビで見ることはあっても、学校教育で教えられておらず、根本的に勉強していません。それを逆にドイツに行ってから外国人に教えられたり、ドイツに留学している韓国や中国の学生から、私たちはこういう目に遭ったと言われて「えーっ」という感じになります。

考えるためにはいいも悪いも事実・情報をきちんと提供しなければいけません。ところが日本はそれをやっていません。

ムダになる努力

有名な私立大の卒業生が、非正規でコンビニに勤め、1年目はとにかく月給が入ってくればいい、来年こそはいい職場に変わろうと思っていた。でもその次の年も、次の年もハローワークなどで探してもない。ご承知のようにコンビニやハンバーガーショップは労働時間が長く、体を壊し、うつ病などになってしまいます。若者はきちんと考えていて、貯金をして、職業教育を受けたり、英語を勉強して貿易会社に入ろうとしたりします。しかし、40万から50万円もかかります。お金を貯めますが、10万以上貯まったという時には自分が病気になってしまいます。私は本当にむごいと思いました。健気に節約しながらもっといい職をと努力している人がやっとお金が出来かけた時に、それどころじゃなくなります。こういう社会を、政治家や行政の人たちはどう考えているのかと思います。

競争社会の行く末

年末に派遣村で住む所がない人が日比谷公園に集まりましたが、私は大阪のあいりん地区を真夜中に回ってみました。道路の溝に板を敷いて毛布をかぶった人がいました。道行く人は「こんな所に…」となればまだいいですが、目もくれずに行く人もいます。

今のような競争社会では自分のことが大事ですから、そういう人がいても見て見ぬふりをするより仕方ありません。

こういうのを**排除、ネグレクトの思想**と言います。日本人は皆そうなってしまっています。

今は若者までもがホームレスになっています。ネットカフェ難民と言われ、ネットカフェで一晩明かし、翌日、何の仕事でもいいからと探します。

大阪でシェルターを回ってみました。日本的アウシュビッツです。蚕玉みたいな所に住

■　患者さん向け「レセプトオンライン請求義務化」パンフレット（無料）を待合室などでぜひご活用ください。
ご注文は協会事務局までお願いします。（TEL 019-651-7341）

第16期岩手県保険医協会役員名簿

役職	氏名	科	地区
顧問			
再	渥美健三	医科	盛岡市
再	岩井利男	医科	釜石市
再	須原富次	医科	盛岡市
会長			
再	箱石勝見	医科	盛岡市
副会長			
再	赤坂俊幸	医科	盛岡市
再	池田健	歯科	盛岡市
再	小山田榮二	歯科	盛岡市
再	坂正毅	医科	盛岡市
再	足澤輝夫	医科	紫波町
再	山岡豊	医科	北上市
再	吉田克則	歯科	奥州市
常任理事			
再	赤坂俊彦	歯科	盛岡市
再	飯島仁	医科	滝沢村
新	伊藤進	歯科	盛岡市
再	尾形文智	医科	紫波町
再	小野寺けい子	医科	盛岡市
再	柿沼民郎	医科	盛岡市
再	角原紀義	医科	盛岡市
再	黒田康之	歯科	盛岡市
再	坂本公児	医科	盛岡市
新	佐藤豊	歯科	花巻市
再	佐々木博	歯科	一関市
再	田村公一	医科	滝沢村
新	足澤國男	医科	紫波町
新	髙田昌樹	歯科	滝沢村
再	南部淑文	歯科	滝沢村
再	東山敬貴	歯科	一戸町
再	細川久昭	医科	盛岡市
理事			
再	伊藤篤	歯科	宮古市
再	岩見千丈	医科	北上市
再	菊池俊彦	医科	遠野市
再	工藤典重	医科	盛岡市
再	齋藤勝也	歯科	北上市
新	佐渡豊	医科	岩手町
新	田村太志	医科	北上市
再	千葉寛子	歯科	大船渡市
再	深澤太賀男	歯科	紫波町
再	深澤範子	歯科	盛岡市
再	三澤芳光	歯科	二戸市
再	宮田左京	歯科	岩手町
監事			
再	江藤修	医科	盛岡市
再	小林琢三	歯科	盛岡市
再	関州宏	歯科	盛岡市
歯科部会長			
再	小山田榮二	歯科	盛岡市

再 は再任 ／ 新 は新任

む場所がない人がやってきて、毛布2枚をもらって、来た順番に詰めて寝ます。管理している人に毛布はいつ交換されるか聞いたら、1年に2回だけ取り替えるそうです。吐いた物やおしっこが染み込んでいようが、もらった毛布で寝るより仕方ありません。冬なのにシェルターに入ると異臭が漂っています。シェルターに行くより、外で寝たほうがいいと言う人もいます。

ホームレスの方の中には若者が襲って鉄パイプで殴ったり、紙に火をつけてダンボールの箱に入れたりするので、怖くて眠れず、ずっと起きているという人もいます。始発の最短距離の切符を買って、環状線を回ってそこで眠るそうです。

いろいろな所で問題となっているのが、図書館などの施設に朝入ってきて、そこで眠るというものです。市民は怖いと言って敬遠します。ですが追い出すに忍びないじゃないですか。だから、**もともとそういう状況を作り出してはいけない**のです。日本より国民所得が低い国でも、そういう風にならないように一生懸命やっています。

例えばドイツのある女性は職を失いましたが、職業訓練をしている間、生活資金が支給されました。子どもを託児所に預けるお金も国が出してくれ、失業中の年金や健康保険は国が払います。日本は誰も払ってくれません。8、9万もらっている人が、なんで1ヵ月1万3千円も年金が払えますか。結局無年金です。今の若者は非正規がほとんどのため、国民年金を納めていない人は7割近くいます。そうするとその人たちが50、60になった時は7割の人が生活保護ですか。

昨日の新聞で生活保護家庭が170万家庭になっているとありました。職がなければ生活保護を受けられない。生活保護もぎりぎりだから、来る人にいじわるをする。働き口がないから来ているのに、あなたは30代だから働けるでしょと言って追い返す。北九州市で亡くなった男の人は水道や電気も止められ、公園に行ってやかんで水を汲んでいたといいます。「汲んでた」って知っていた人が、なんでそのままにして見殺しにしたのと心が痛みますが、そういう状況です。せめておにぎりを食べたいと日記に書いてあったと言うじゃありませんか。

転換期

日本人はもとは助け合う国民でした。本家や分家という形で助け合っている人もいるし、見ず知らずでも助けたりします。私が子どもの時は、物貰いと言って、何か食べ物を下さいと家に来ました。そうすると母がおにぎりやお米を生のまま袋に入れて渡したりしていました。なんでこんな冷たい社会になってしまったのだろうと思いましたが、これが端的に現れたのが小泉さんの時代です。**強い者が勝ってお金を持ち、能力のない者は失業してホームレスになってもいいじゃないか、その方が国としては早くお金が貯まるんだという哲学「新自由主義」を総理大臣が公認しました。**改革なくして成長なしと言ったので、おそらく、皆さんの中にも成長すれば私の所にもお金が転がってくるのではないかという生易しい考えで投票した人も結構いると思いますが、私は経済学をやっているので、そんなことは絶対ないと思っていたし、言い続けてきました。

新自由主義の時、GNPは140兆円くらい伸びました。国として経済は伸びましたが、労働者のもらった賃金は5兆円減りました。つまり、**儲けたものが、誰かの懐にとどまっていて、一般の人の所には全然来ない。**これが新自由主義です。それなのに国は経済力が伸びれば私たちも良くなるとおめでたく思っています。

アメリカの自動車会社の役員たちは何万という労働者を首にしながら、自分は何千億というお金をちゃんともらって退職しています。それでいいという社会です。普通の感覚でいけば、汗水流して働いた人に、心ならずも首にするのだから、自分の退職金の9割をその人たちの退職金に当ててくださいというのが人間としての考えです。だけど、そういう考えは全くない。

日本でも同じ。140兆円も儲けて、株主の配当は1・5倍くらいに平均的に増えましたが、働く人は非正規でワンコールワーカーや1月で首を切るなど、そういうことをして利潤を溜め込む。

消費税をどうとか言っていますが、今の税の仕組みではトヨタは消費税を1円も払っていません。ホームレスの人はアンパン1個買うにも消費税を払っています。こういう仕組は本当におかしい。

今は選挙目当てで国債を発行していろいろな所に使っています。これはやがて消費税を10％にして取り戻すということですが、一体誰が払うのでしょうか。私たちが何も世の中のことを知ろうとせずに、自分、自分で生きて行ったら、みんなそのままでいってしまいます。こうして集まるより、家にいて何かしたい、出かけたいとなる方が多いと思いますが、集まることが1つの努力だと思います。

騙す能力

今、アメリカを始めとした国際的な不況に陥っています。めちゃくちゃなことをしました。お金が返ってこないような人にも無理無理貸し付けて、お金が返ってくる人と返ってこない人を一緒にした債権を作って、みんなに売りました。売る方は買ってもらえば手数料が入って自分が儲かるから、返ってこなくてもそんなことは構わない。自分がよければ人を騙して債権を買った人がどうなろうと知らん。騙されるのが悪いんだと。**能力があるというのは騙す能力**です。

労働者には恩恵なし

日本はかつて1億総中流と言われました。当時から格差はありましたが、なぜ皆中流と思ったかというと、その時の家計調査年報を見ると、1番下と1番上の差が3・5しかありませんでした。今は5くらい開いています。当時はほとんどが国内で経済が回っていました。企業が儲ければ、その分は賃金に滴り落ちてきて、勤めている人にボーナスが出たりしました。そのお金でテレビを買って企業もまた儲かり、**互恵互助の関係**がありました。国が企業に手厚く保護をしても、働く人にも回ってくるから、それがわずかでも、私たちは目をつぶっていました。

しかし今は何にも回っていない。企業は工場を安いところに移し、儲けを働く人に回さず、中国やマレーシアなどに投資します。海外でやっている人たちは海外の安い税金を納めれば日本で納めなくてもいいとか、輸出企業は消費税をかけないとか、自民党が決めた自分たちに都合の良い法律を使って、トヨタは去年までは世界一になったと威張っていました。

派遣業務は限られた業種にしか使ってはいけませんでしたが、全面的に使えるように法律を変えました。だから今の**非正規の社会**になってしまいました。非正規が多くなったら、そうした人たちにも年金をつける法律にすべきなのです。ヨーロッパはそうなっています。同一賃金、同一労働で、正規であろうと非正規であろうと正規の人の時間勤務で当てはめて、社会保険も全部つけています。非正規が多くなってきたと言っても、全然違います。

負の連鎖

最近子どもの虐待が20倍くらい増えています。親は心に余裕がないと、わが子が厄介者みたいに思えてきて、言うことを聞かなかったりするとついカッとして手を挙げてしまいます。

私も子どもが小さい時、食べ物がなかったわけでもないのに、いたずらをすると、ついカッとなって怒り、夜、子どもの天使のような寝顔を見て「悪いことをした、明日は怒らないようにしよう」と誓いますが、また翌日になると怒っています。そういうことの繰り返しだったから、ましてや**生活に困っている時は持って行き所がない**と思います。

先日、心を痛めたことがありました。ある教会の牧師さんが、ホームレスの人を金属バッドで殴る少年のことを怒って、自分で捕まえて諭すと待っていたら、ホームレスのおじさんが「あの少年たちは、少年のことを考えてくれる家族を持っていないんじゃないか。夜遅くても、こんな遅くまでどうしたの、何かあったのと聞いてくれる家族がいないんじゃないか。少年たちのやり切れない気持ちが自分たちに向いて、もっと弱い者をやっつけてやろうという気持ちになっているのではないか。自分も、自分のことを考えてくれる家族を持っていないから、少年の心がわかる」と言ったそうです。

教育現場にも広がる競争

学校も競争競争となってお金をかけて全国学力テストなどをやっています。大分県の臼杵市は過疎化が進み、教師は生徒の数によって割り当てられるため、先生の数もどんどん減っています。中学の技術の先生が、いろんな学科を持たされて「音楽と英語だけはできません。教えられませんから勘弁してください」と校長、教育委員会に頭を下げて、他の学科は1人でやっています。

もう少しましなところに行っても、物理と科学と生物を1人の先生が教えています。3つの教材の準備をするのは大変です。同じ理科でも全然違います。そういうことをほっ

■　東北銀行、北日本銀行と協定融資制度がございます。詳しくはお問い合わせ下さい。FAX 019-651-7374 またはメールiwayou@doc-net.or.jpまでお願いします。

といて、一斉テストをして、あそこの平均点がいいとか文部大臣が喜んで言っているのは、何なんだと、怒りが湧き上がってきます。一斉テストをした時、中には問題集を開けもせずに机に伏せていた生徒もいたそうです。こういう状況にして政治家は国民を愛しているというのか。国民のために国家があると誓ったはずなのに、ただただ競争させています。塾に行かせたり、家庭教師を雇わせたりしている家庭の子どもは点がいいけれど、そうでない家庭は点が悪い。

　修学援助と言って、給食費や月謝が払えない家庭に自治体が援助する制度があります。修学援助を受けている家庭の多い学校は一斉テストの平均点が低いです。いかに**経済力が子どもに影響している**かということです。

　人間の持っている能力や遺伝子は、人間がどんな暮らしをして、外からどんないい刺激を受けるかによって、発揮されるものが全然違います。面白い学習の仕方や調査、実験をしたり、いい本を読んだりしていれば、それに反応して良い遺伝子が外に出てきます。けれど、虐待されたり、なんでそんなに点が悪いんだと言われていたら、そういう遺伝子は外には出てきません。

時代を反映する能力

　人間はどのくらいの能力を持って生まれてきているかわかりません。その時代に要求される能力だけが外に出てきます。封建時代の武士は戦う能力が外に出て来て公共サービスをしようなんてことは出てきません。

　戦争中は敵を殺す能力が出て来て、敵を殺すことは名誉であっても、自分が殺したあの人がどこかの国のお父さんで、何人も子どもがいたかもしれないと考える能力は出てきません。原爆に遭った人はわかるかもしれませんが、人間は自己防衛機制というのがあって、そういうことをつらいと思わない精神構造になってしまいます。だから原爆で黒焦げになった人がいても、普通なら大きなショックを受けますが、生き延びようとする人間の本能は、黒焦げを見ても平気になって、踏んでも自分は逃げていきます。

講演のようす

　イラク戦争を見ても、アブグレイブの刑務所でイラク人を裸にしていろいろなことをやった兵士がいましたが、その時は兵士は何とも思っていませんでした。だから人間の持っている能力や精神状況は外にある環境によって変わります。後から思えば後悔しますが、その時は平気です。

豊かさとは

　豊かさとは生き方です。銭金はある程度必要です。労働科学研究所が人間はどこまでお金があればもっといい人間になれるか研究をしました。それはある所で止まります。餓死するような状況や月謝が払えない状況では子どもは能力を発揮できません。ある程度、親がご飯を作れる時間のゆとりがあって、暮らしの文化がなければなりません。私の母は手作りが好きで、服も作っていました。

　家庭で親が子どもに常々声をかけることがとても重要です。父が自然科学者だったのですが、会話の中で「でもそれは噂だろ、何も証明するものがないんだろう」と言ってみたり「それはこういう原因があるからそういう結果になるんだよ」と言うのを聞いてました。母は婦人の友に熱中しており、机の上に家計簿がのっていました。

　父は物を哀れがる人でした。草むらに野良犬が子どもを産んでいるとうちに連れてきて、子犬が自分で生きていけるまでは育てて、その中で障害を持っている子犬を残して、かわいい子犬から人にもらっていました。よく、障害を持っている犬は本当に犬好きの人でないと育てられないからうちに残すと言っていました。

　そういう文化が子どもの中にあって、知らず知らずのうちにいろんなことを考えたり感じたりしました。

　ところが今の正規の人は夜遅くまで働かされて、会社の中にうつ病でない社員を持っていない会社はないというくらいノルマを課されます。そういう親が子どもに向かって私の父や母が言ったような言葉をかけられるのか。私の子どもの時期はまだのんびりしていました。**親が競争社会に巻き込まれて、持っている能力や人に対して共感を持つとか、何かしてあげたいと思う余裕がない中で育つ子ども**を考えるとぞっとします。

働くことの意味

　1番の問題は働きたい人が能力を発揮できないことです。石川啄木の歌に「快く我に働く仕事あれ　それをしとめて死なんと思う」というのがあります。労働は人間に与えられた本性です。退屈で何もすることがないというのは、人間にとって良いことではありません。だけど、快く働く、自分の個性、能力に合う仕事を面白い、嬉しい、皆の役に立っているんだと思って働くことが大事です。

　人間には働きたいという気持ちがあります。障害者のための作業所を全然知らない人は作業所を作っても、かえって世話するのに大変だと言います。私はビンを洗う作業所の理事をしていますが、障害を持っている人も親も、とにかく仕事をする、**仕事を通して社会とつながっていると実感できることが嬉しい**のです。

　だから労働は人間にとって嫌なものではないはずです。きつく嫌な仕事であれば、労働時間を短縮し、その他の時間に自分のやりたいことをやることで回復することを歴史的にやってきました。それを踏みにじっているのが今の日本です。全然働かなくても、理事長とかで渡り歩いて、天下りして退職金をもらう人もいます。それも新自由主義で、あの人は高い地位にいたのだからと容認します。かんぽの宿で西川さんを鳩山大臣（元）が絶対許さんと言っていますが、私はその心情がわかりません。今の管理機構がやっていることは本当にひどい。それを平気で、退職金も水増しして天下りはいいじゃないかと今の政権党は言っています。

　世襲制度も最初は勢いよく言っていましたがやめにしました。小泉さんの次男が立つとなっており、この人はもう当選することが決まっています。小選挙区制のため、本当は政治家としていい能力を持った人がそこから出られません。だけどその子どもに生まれたというだけで支援団体や後援団体を私物にしてしまっています。汗を流して天下の苦しみを先立って苦しみ、楽しみを後回しにして楽しむというのがもともと政治家の信条だったはずです。そういう政治家になりたいと**貧乏の中から立ちがった人は政治家にはなれません**。だから適材適所で1ふさわしい人が政治家になるためには世襲制度をやめなければなりません。世襲議員ホームレスの気持ちなんてかりません。私は麻生さんシェルターに1週間泊まってほしいです。

　私の友達は後期高齢者の保険や介護保険料がものすごくて、医療保険が取り上げられています。その人は私がんだら火葬はいらない、私死体をタンカーに乗せて、理官邸の前に置いてきてくださいと言っています。現在、ョブカフェ難民の3割しか険証を持っていません。あ7割は保険証なしです。今の世の中はそういう人生自分が努力しなかったからいますが、大学や高校を業した人は3、40の会社に歴書を送ります。競争率も何十倍になっています。地に行くと、学校の先生の競率は400倍にもなっています。結局宝くじに当たるよなものです。宝くじに当たないから自己責任なんて言ますか。それと同じです。**規で入れないのを自己責任は言えません。**

秀才とは

　先日テレビを見ていたら、鶴見俊輔さんが僕の時代から**1番や2番になる人間は社会に屈服した人間**だったと話していました。いい点がとれる学生というのは、この先生にはこの答えを書けば点がもらえると察知する能力がある学生です。秀才と言われる人はこう書けば気に入られるだろうと分かる人です。

　菅家さんが先日無罪になりました。検察も悪いですが、裁判官も悪いです。周防正行監督が「それでも私はやっていない」という映画を撮り、映画を作る時に裁判官に取材しました。裁判官はエリートと呼ばれる人です。そのエリートは、こういう判決文を書けば、自分は高等裁判所の判事になれる、最高裁に行けると考えて判決文を書いています。自覚していればまだいい方で、無意識のうちにそれをやっている。彼らは司法試験を通る時に、こう書けば通るというのをわかっています。判例についての意見も聞かれます。例えばビラをまいたから有罪になった判例を間違ったなんて言ったら司法試験は通りません。こういう能力のある人が判事になっているから、下々の人がどんなに苦しい思いをして犯罪を犯したか、犯罪を犯していないのに、日頃からおんぼろの服や変わり者と言われているから検察にあげられたんだとか、そんな所には神経が回りません。

　教育基本法が能力を等しくと言っているのはそのことなのです。今は競争に強く、ミスをせず、上に文句を言わない子を要求しているかもしれませんが、社会が変われば**ダメな人間になるかもしれません。**

　今年はダーウィンの生誕200周年で進化論が言われていますが、人間は優生学的にみて、**優れた人間だけが残っているわけではない**ことが証明されています。「優れている」とは何をもって優れているのかはその社会によって異なるため、その社会で優れている人だけが生き残っては人類は滅びるということが生物学的に自明のこととなっています。昔、私たちは、卵子に対して精子が競争して1番優れた精子が卵子と結びついたと教わりました。それもウソだそうです。非常に偶然的なもので結びつくということです。それは生物の知恵です。いろんなものが残らないと人類は生き延びないということです。

個性

　今の学校教育では先生も出来る子をなでてしまっていますが、それも違うと思います。私がドイツの先生と話をして1番ガーンとなったのは「日本人はどうしてそんなに順番付けばかりするのですか。個性は比べられないからこそ個性です。順番付けをして比べたらそれは個性ではありません」と言われたことです。個性教育と言っているのに結構、順番付けしてしまっています。日本に帰ってから学生にお詫

■　保団連メールマガジン購読者募集中！　詳しくは保険医協会までお問い合わせ下さい。（TEL 019-651-7341）

びしました。

学生の仲間から「あいつの沸かしたお風呂は明日沸く」と言われていたじっくり考える学生がいました。学生たちを連れて農村調査に行くと、そういう学生が最後までやり遂げます。器用な学生は3日くらいするとこの調査票を埋めさえすればいいんでしょとなってしまいます。**神様が与えてくれた個性というのは、浅はかな知恵でこれがいい、悪いと言えるものではありません。**豊かな社会とは皆、それを発揮させようという社会です。

極端な貧困や競争で自殺する中学生もいます。小山ななちゃんの残した遺書を見たら涙が出ました。「学校なんか大嫌い。人間を踏みにじるから」と言って1ヵ月くらいして悩みに悩んで自殺してしまいました。お母さんが「ななが死んだ時に校長先生が言ったことは人に知られないようにしていますからでした。なながもっと強い子だったら自殺しないで済んだだろうと言う人もいます。私は子どもが自殺した親として、強い子だったら良かったのにと思う。だけど、**強い、弱いでは なく、弱い子も生きられる社会**を作ってください」と言いました。

子どもは産まれながらに哀れみ深く、友達がいじめられているのを見て、目に涙をいっぱい溜めるような子もいます。私の下の子がそういう子で、お兄ちゃんが叱られても、お兄ちゃんが泣く前に泣いちゃいます。そういう子に強くなれと言ったって無理です。その代わり、学校でいじめが起こりそうになると、暉峻君が何か言うと、いじめがピタッと収まりますと先生に言われました。それはいじめられる子の心がよくわかって、その心を言うからだと思います。天が与えた心は変えることができません。人を思う気持ちが性格である子どもも学校に喜んで行って、学校の中で認められて、能力を発揮できる学校であってほしいです。

大きな拍手で幕を閉じた講演

中山文部大臣の時に、競争社会なのだから、生徒のうちから競争させなければいけないと言った時はいたたまれない気持ちでした。大学も大学間競争が激しく、基本的な物理学や哲学、生理学などをやる人がいなくなってしまいました。そういう所には研究費の予算もわずかで、企業と結びついて稼ぐような所には何億ときます。学問の世界も本当に大事なことが行われなくなって来ています。

そういう社会をいいと思わないのだったら、一人ひとりがちゃんと考えて、ちゃんと行動する他ないと思います。

徹底した職業訓練

先ほど職業訓練の話をしましたが、私の友達は化学が好きだから、薬の中に入っている説明書を英語にする職業訓練を受けなさい。これだったら正規で雇われる」と言われ、職業訓練を3年間受けたそうです。その間、生活費をもらい、最後の7ヵ月はロンドンの製薬会社で研修を受けて帰って来て、それからずっと首にならずに働いています。

半年くらいコンピューターの勉強をしたって、今時就職先はありません。徹底してやる。

生活保護を受けている人も日本では肩身が狭く暮らしていますが、去年、ドイツで調べたら、その人たちが**殻に閉じこまらないように、社会に参加するような制度**にしていました。

例えば、生活保護を受けている人は、不用品を整理して貧困な人にただで持っていくようにする所の店番や整理をする仕事をしなければいけません。生活保護を受けているので時給は150円です。そのお金をもらっても生活保護費から差し引かれません。職業訓練は職業社会参加をして、社会人として暮らし、後ろめたいことはありません。職業訓練は職業のことだけをやっているのではなく、文化的なこともやるようにして、人間らしく生きるようになっています。日本は失業保険を受けている人なんか失業した人のわずか15％だと言います。非正規で入ると事業所が失業保険に加入していない、あるいは転々としてそれもできないという人もたくさんいます。

生活保護も5分の1しか受けられておらず、生活保護レベルやそれ以下で暮らしている人も大勢います。こういう時には隣人が一緒になってあげなければなりません。生活保護を受ける時に福祉事務所に1人で行けば、散々いじめられます。何人かついて行ってあげればそれだけで対応は変わります。**自分にできることを1つでもいいからしましょうという気持ち**になれば政治に対しても、私たちはこれだけやっているんですよ、それでもまだ貧困があるというのは政治の仕組が変わらなければいけないのではないですかと言えます。何もしないでただ野球だけ観て政治に文句を言ったって迫力ありません。

もちろん、働くことも大事。30年も働けば、あとは自分の家があって、老人になった時にゆっくり暮らせる、そういう働き方が必要です。上から言われるのではなく、一人ひとりの生き方に関わった問題ですから、私も死ぬまで、ボケるまで何かしていきたいと思っていますので、皆さん、一緒に日本をいい社会にしていきましょう。

投票率も40％と低く、**投票すること しか私たちの意見を反映することができないのに、それさえもしない人が増えています。**投票するとレントや俳優などに投票したり…それではだめなんです。病気になった時もちゃんと治してもらえ、貧困からの保障もしっかりある社会にどうしたらなるか考えなければいけません。

質問

いつか新聞で読ませていただいたのですが、暉峻先生が社会を良くするためには連帯が必要だとおっしゃっていて、心に響いたので、もう1度お話いただければと思います。

回答

人間はもともと集団でしか生きられない動物です。**経済活動は私たちが幸せになるためにあります。**人間は複雑な言葉を持っています。言葉は集団が通い合うためのもので、意見を言ったり、理解してもらったり、子孫に伝えるために書き残したりします。そのためレベルの高い生活ができます。

また、人間は道具を作る動物であると言われていて、少しでも生活を良くしようと、すきやくわを発明したり獣を取る罠を作ったりしました。それだけのものを作らなければ、働けない子どもや老人を養っていけないからです。自分が生きるためだけでなく、それ以上のものを生産するということがこれだけの発達につながりました。

経済的というのは、最小のコストで最大の効果をあげるということです。なぜ経済についてだけ原理原則として言われているかというと、それによって**貧困や病人を助けたりして皆が生きていける**からです。

物々交換も人助けです。新井白石の蝦夷史をみると、大和から米を運んで、蝦夷地の海岸に置いておくと、蝦夷の人が毛皮や昆布を海岸に同じように並べます。米と毛皮が同じような価値だと思うくらいになったところで、船にいた人が毛皮を船に運び始めると、蝦夷の人は米を持って行く、無言貿易と言うのがありました。その土地でとれないものをお互いに交換して生活を良くしましょうということです。

貨幣が物々交換の仲立ちをするようになると、お金はいつでもどこでも何とでも換えられ、富を蓄えることができるようになり、欲が出てきます。本当は貨幣は米であったり、金であったり、商品だったのですが、今はそこから離れてしまっています。実物を動かす貨幣の何千倍というお金が地球上に出回って、ここに投資すれば儲かる、騙せるというようなところにお金が投資されて、それが悲劇を生んでいます。**人間を苦しめる、のためであった経済が人間を**非正規で働かせ、ワーキングプアにさせたり、ホームレスにするところに落としいれています。

競争というのが社会にはびこるようになったのは、資本主義社会になって市場の競争が出てきたからです。欲しいものは市場を通して手に入れます。市場で勝ち残るには競争して安い物をより良くとなります。安くて良い物がはばをきかしているのはいいけれど、今はそうではなくて、先に市場を**占拠したものが勝ち**ます。

最初の、高齢者も障害者も貧困な人も皆に富が行き渡るという経済的な営みにしましょうということから逸脱してしまって、**経済の奴隷**になってしまっています。そこをしっかり見て、富を皆のための自然に回していくことが**人間の知恵**です。経済は放っておけば、ある所に貯まって、再分配されるということはありません。市場の力と人間の知恵のどちらが強いかです。今は市場経済なので、市場そのものを否定することはできませんが、それによって生み出された富を人々に回していこうというのは人間の力です。

世界には巨万の富があります。原爆や戦闘機など、殺しあうことばかり考えて、どうして人間は頭も知恵も感情も持った生物なのに、うまくいかないのかと、毎日そればかり自問自答しています。その時に1つでも碁盤の上に石を置くように今日1つ何かする、それをやっていくしかないと思っています。やらないよりは、それをやっているので私は希望を失わずにいられます。

質問

高校の教員をしている者ですが、敗戦後、ドイツと日本をお比べになって、ドイツは社会保障、日本は銭金の方に行ってしまったということで、様々原因はあると思いますが、方向が分かれた理由があればお聞かせいただければと思います。

回答

どこの国も天国みたいな国はありません。それぞれの国が努力してこういう社会を作ろうとしています。ドイツの場合は、日本と違ってナチスへの反省が徹底していたと思います。**国に文部省があると、政権をとった政治になびきます。**文部省は廃止して、各地方の州に文部省のようなものを作って、その州の教師と親が膝を交えてどんな教育が必要か話し合って決めます。教科書は各州によって異なります。日本は、ドイツにも教科書検定があると言いますが、ドイツの検定には労働組合からも弁護士からも各政党の支持者からも出ていて、皆の意見を反映できるようになっています。教科書のここが間違っているのではないかと言われれば、出版社は書いた人に尋ね、ここはこういう資料に基づいて出しています。一貫性があればそれは通ります。日本のように、沖縄の集団死が軍の命令によるものではなかったと一斉に削除したりはしません。

学校の先生は午後の1時ぐらいに終わって、翌日のために教材の勉強をし、子どもたちは地域に帰って活動し、学校教育の後は地域教育、家庭教育と3つの教育を受けます。ディスコのクラブやスポーツクラブ、絵を描くクラブなどいろいろあって、子どもが自分で選んで入ります。クラブの料金も非常に安く、スポーツクラブはほとんどただです。大学生や退職者などがコーチをしており、高校生も早く学校が終わるので小さい子どもの指導をしています。そうすると、1ヵ月5千円小遣いが与えられます。地域社会の中で、あのお兄さんもいた、あの子がいた、など知っているわけです。学校が何か恣意的にやろうとしても**地域社会**がそれをしっかり見ています。労働時間も短く、両親も早く帰って来て、子どもとの間の家庭教育が成り立ちます。そこが全然違うと思います。

非ナチの教育がしっかりなされており、田母神さんのように日本は悪くなかったなんて言おうものならいっぺんに

■　患者さん向けパンフ「医療再建で国民は幸せに、経済も元気に」「保険で十分な治療ができない…。どうする日本の歯科医療」（1部100円）をご活用ください。ご注文は協会事務局までお願いします。（TEL 019-651-7341）

首です。**どうやって2度とナチスのような愚かなことをしないかというのが徹底して議論されています。**そのためには子どもの一人ひとりの個性を大事にしなければならない。クラスの人数を最大でも18人くらいにしなければ、一人ひとりを大事にできない。だから一人ひとりが皆自分なりの意見を言います。

日本では小学校1年生で教材のおはじきを買わされ、数えておしまいでした。ドイツでは先生が「あなたたちの生活の中に1はどういう風にありますか?」と聞きます。そうすると1回電車に乗ってくるとか、必ず1回はお母さんに叱られるとか、歌をうたうと、1というお休みが入っているという子など、1週間も10日も1の発表ばかりです。日本は文部省の指導要領で5月までにひらがなをマスターする、足し算をマスターするなど決まっています。そんなことはなく、目の前の子どもに合わせて進めていきます。2に入った時、1と2どちらが大きいか聞いたら、生徒の中に1という子がいました。先生は顔色1つ変えず、にこにこしながら、そのわけを教えてと言うと、昨日、お母さんに大きなビスケットを1枚もらった、お兄ちゃんが早く食べてしまって、僕の所に来て分けろって言ったから、割ってあげたら、割った2よりも1の方が大きかった。先生は間違いと言わないで、地球儀を持ってきて「皆見て、地球は1つだけど大きいね。この1つの地球の中に、言葉の違う人、いろんな人がいっぱいいるね。だけど地球は1つで大きいね」と言っておしまいでした。どんな子が言うことにも、お前の言うことは間違っているというのは聞いたことがありませんでした。そこからいいものを引き出す先生の力量は大したものです。

文部省が取り締まって、先生にこれしちゃいかんと言っていると、先生の創造性が育ちません。現場のことは任せるよと言えば先生たちはこぞって工夫します。絵の先生も、自分がどれがいい絵かは決めず、教員室に持って行って、私の見方だと偏るから皆さんの意見を聞かせて下さいと言って、先生たちにいろいろ意見を言わせています。先生たちも助け合っています。

非ナチの教育というのはナチスの悪い所ばかりを教えるのではなく、ナチスのような1つの考え方、ユダヤ人を差別しないような生き方をするには子どもたちにどういう教育をしたらいいか、先生たちは徹底的に勉強しています。東京では1クラス何十人というところをせめて30人にしてくださいと親が署名を集めてお願いしていますが、そういうところには全然お金を使わないでオリンピック誘致に力を入れて、心の中が煮えたぎる感じです。1番大切なところをどうしてしないのと思います。

企業やホテルはシャンデリアがあってピカピカですが、そこに勤めている労働者は粗末なところに住んでいました。シュミット首相はどうしてこんな差別をするのかと驚き、ドイツでは、労働者の住宅から整備し始めました。

民主主義や人権を大事にするということは一人ひとりを大事にするということです。障害を持った子や病気を持った子と健康な子に同じものを与えるのではなく、能力を発揮するのはそれぞれの子によって与えられるものが違うんだと、それでやっと公平になるという考えです。私たちは民主主義が与えられていますが、本当の民主主義になっているかということです。

「肺炎球菌ワクチン」の公費助成を求める陳情 7自治体が採択！

肺炎球菌ワクチンの公費助成は現在、全国で103市区町村（5月11日現在）に拡大しています。新型インフルエンザが流行し、秋には新たなインフルエンザが流行する恐れがあるとも言われています。肺炎予防のためにも助成とワクチンの周知が求められます。

当会広報5月号でお知らせした通り、県内の各自治体の6月議会に「肺炎球菌ワクチンの公費助成を求める陳情」を行いました（藤沢町、奥州市、花巻市以外）。

自治体によっては、審議の関係から、地域の会員の先生方にご協力をいただきました。ご多用の中、誠にありがとうございました。

宮古市は請願として提出しましたが、6月8日の教育民生常任委員会で継続審議となり、本会議も同様となりました。

陳情として提出した北上市、二戸市、陸前高田市、金ケ崎町、住田町、平泉町、矢巾町は採択となりました。

ご協力くださいました先生方に心より御礼申し上げます。

6月議会の結果を踏まえ、今後の活動を進めていきたいと思います。会員の先生方におかれましては、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

指導・監査の概要と対策を学ぶ

学習会のようす

6月24日、花巻市のまなび学園にて当協会社会保険部では、指導・監査学習会を行い、21名が参加しました。

足澤國男社保部長は開会挨拶で「日常でのカルテ記載などに注意し萎縮診療にならないようにして欲しい」と呼びかけました。

学習会では当協会の伊藤事務局員が、指導・監査の概要や対策、日常での留意点などについて、資料を基に説明しました。

アンケートには「改めてカルテ整備の必要性を思い知らされ気が引き締まった」などの感想が寄せられました。

なお、別紙付録にて、今年度の指導計画等をお示ししましたのでご覧ください。

口臭治療でベストワンからオンリーワンへ

講師の本田俊一先生

5月23日、ホテル東日本盛岡にて歯科講演会「口臭治療から始めるドライマウス・予防歯科モデル」を開催しました。講師には「ほんだ式口臭治療」で全国的に有名な本田俊一先生をお招きしました。当日は、歯科医療関係者66名の参加がありました。

講師の本田俊一先生は、東北には特に力を入れているとのことで、今回特別に先生の貴重なスライドを配布資料として参加者にご提供いただきました

本田先生は、年々高まりつつある口臭への関心に対して、口臭治療の実態および、今後急増していくと考えられる生理的口臭や自臭症患者への対応、その背景となっている非病的ドライマウスへの対応、治療終了後の定期的管理、口臭治療のシナジー効果や口臭治療の経営的問題などについて、パワフルかつ非常にわかりやすくご講演されました。

最後に、渋田歯科医院（八戸市）の渋田大路先生より、本田先生が公開診療体制により後継者育成プログラムを行っておられるエクセレントブレス北東北の紹介がありました。

・・・・・・
「口臭治療」に関するメーリングリストを開設します
・・・・・・

エクセレントブレス北東北のメンバーで、当会常任理事の東山敬貴先生主催による「口臭治療メーリングリスト(仮)」を近日開設致します。

内容は、本田先生からご提供いただきましたスライド資料について、東山敬貴先生が1枚毎に解説を行っていく予定となっております。

メーリングリスト参加ご希望の方は件名もしくは本文中に「口臭治療メーリングリスト申込み希望」と明記のうえ、E-mailアドレスを添えてiwakyou@doc-net.or.jpまでお申込み下さい。

理事会だより 5月

【日　時】2009年5月19日（火）19：30～21：20
【場　所】盛岡フコク生命ビル第1会議室
【出席者】役員、事務局併せて20名

1、2009年度第1回常任理事会議事要録が承認された
2、2009年度4月期活動報告並びに2009年5～6月期活動計画について承認された
3、第32回定期総会の議案書が確認された
4、東北ブロック医療研究集会のタイムスケジュール等について確認された
5、常任理事会運営細則の改定が承認された

協会行事案内

介護保険学習会

第1部の介護報酬請求のポイントでは、請求義務の注意点、居宅系サービス、施設系サービスの請求の勘所をおさえます（テキスト「医療系介護報酬のポイント」1500円を使用します）。

第2部の介護認定と給付管理の現状と課題では、適切な介護認定を受けるためのポイント、少ない費用で大きな満足を得るためのポイントを学びます。

7月10日（金）18:00～20:00
北上市生涯学習センター　第1学習室

講師：第1部　滝本　博史 氏
（全国保険医団体連合会　事務局次長）
第2部　吉田　　均 氏
（矢巾町地域包括支援センター所長・岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会会長）

参加費：無料
※テキスト代　1,500円
（第1部では各事業所ごとに1冊必要となります）
※当日、テキストと一緒に振込用紙をお渡しします。

医療職員セミナー

医療法で医療安全管理が義務化され、年2回程度の医院全職員対象の院内研修が義務づけられました。

今回のセミナーでは「安全管理としての接遇」の他、患者さんとのトラブル・ミスを防ぐためのコミュニケーション方法を学びます。

参加された方には受講証を発行いたしますので、職員研修の記録としてご活用してください。参加ご希望の際は、必ず申込用紙にてお申込くださいますようお願いします。

7月11日（土）18:30～20:30（予定）
ベリーノホテル一関
7月12日（日）13:30～15:30（予定）
岩手県国保会館

講　師：石割　郁子 氏
（E＆Eプロモーション㈱　代表取締役）

参加費：お一人様　500円（会員価格）

■　川柳を募集しています。テーマは医療・格差など自由です。FAX 019-651-7374 またはメールiwayou@doc-net.or.jpまでお願いします。